

**事例 3**

「男女共同参画社会の実現をめざす教育の実践に向けて」を活用した事例

校 種	小学校	学 年	4 年
テーマ	自分らしさってなんだろう		
領 域	道徳		
ねらい	○ 何気ない日常生活の中に、固定化された男性観や女性観があることに気づき、その不合理さを考える機会とする。		
【学習展開（概要）】			
1 家庭の仕事における男女の役割を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家事をするのはお母さんが多い。</li> <li>・おばあちゃんが夕飯を作っている。</li> <li>・お父さんは夜遅くまで仕事に行っている。</li> </ul>			
2 男女を意識した会話を使ったシナリオを作る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子だから家事を手伝う</li> <li>・男の子だから勉強をする</li> <li>・男の子はたくましくないとダメ</li> <li>・女の子は優しくないとだめ</li> </ul>			
3 男女を逆にして、2で作ったシナリオを使いロールプレイをする。			
4 気づいたことを交流し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで無意識に男女で決めつけをしていた。</li> <li>・これからは、「自分」を大切にしたい生き方をしたい。</li> <li>・個性を認め合って暮らしたい。</li> </ul>			
【工夫・配慮点】			
○ ふだんの親子、友だち同士、先生と子どもの会話を想起させ、短いシナリオを作らせる。			
○ 発達段階において「当然のこと」としてとらえられていることを、いきなり否定するのではなく、「気づき」を認め、大切にさせる。			
○ 男女逆のロールプレイにより、違和感を覚える子どもが出てきたときには、否定をするのではなく、教師は常に許容する態度で接する。			
○ 自分らしさを追及させることで、一人の人間として自尊感情を高めようとする態度を育てたい。			
成 果	○ 自分たちの男女のイメージが、昔からの固定観念と同じであることに気づくことができた。 ○ 男女という性別ではなく、自分のことは自分でできるようになりたいという児童が増えた。		
課 題	● ロールプレイを効果的に行うためにも、ふだんから積極的にロールプレイ等参加型の手法を採り入れておく必要がある。 ● 刷り込みの度合いは、個々に差異があるので、授業だけでなく、家庭での様子や子どもの生育歴や価値観なども把握する必要がある。		